

行政職員を騙り、「還付金がある」は詐欺！

還付金詐欺とは、役所等を騙って自宅の固定電話などに電話をしてきて、税金や保険料が還付されるなどと説明し、そのための手続きとして ATM に誘導してお金をだまし取る詐欺の手口です。北海道内の 2026 年中の被害は、8 月末で 11 件報告されています。

【事例 1】広域町・年齢性別不明

長い名前の会社から電話があり、「医療費の払い戻しがある。3 月頃、赤い封筒でお知らせしているが期限切れのため申請が必要だ」と説明された。

還付金額を尋ねると 83,000 円で、申請は役場ではなく金融機関で出来ると言われ、変だなと感じ自分で福祉の方に聞いてみると返答すると相手方から切電された。

【事例 2】他市・女性・60 歳代

市役所職員を名乗る女性から「介護保険料の還付金がある。金融機関の ATM へ行くように」と誘導された。

銀行に着き、金融機関を名乗る男性から携帯電話で ATM の指示を受け、還付金を受理する手続きをした。

その結果、他人名義の銀行口座に 100 万円を振り込んでしまった。

【ひとこと助言】

- 「お金を返すために必要」などと言われ、名前や住所、生年月日、口座番号等の個人情報を聞かれても絶対に答えてはいけません。
- 不審な電話の対策として、防犯機能付き電話機の導入や、留守番電話・ナンバーディスプレイ機能などを活用しましょう。
- 一度現金を振り込んでしまうと、取り戻すのは極めて困難です。還付金に心当たりがある場合は、電話を切り、自分で役所等の担当部署を調べたうえで連絡し確認してください。
- 役所等から「お金が返ってくる」という電話がかかってきたら、それは還付金詐欺です。そのような電話があったら、士別警察署（0165-23-0110）か下記士別地区広域消費生活センターにご相談ください。



消費生活相談専用ダイヤル (0165)23-3820

午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（土・日・祝日・年末年始を除く）

■事業者と消費者間の契約に関するトラブルや、消費生活で悩んでいる方専用
来所・電話相談のほか、電子でも受け付けています

